雨庭の効果の試算結果(雨庭プランナー 地図版)

作成日時:2026年11月12日 18:29(印刷時の端末時刻)

降雨パターン:実績雨量(熊本 2016年6月20日)｜24h 154.5 mm｜ピーク 89.0 mm/h
配置した雨庭:4か所(雨庭面積合計 117m²)／ 雨水を集める範囲合計 1,165m²

対象地点(緯度・経度は世界測地系):
1. 一戸建て(屋根＋駐車場)｜北緯 32.80490・東経 130.76270｜ 雨水を集める範囲 115m²・ 雨庭 11.5m²・ 深さ 30cm・浸透能 50mm/h
2. 小規模集合住宅｜北緯 32.80780・東経 130.76610｜ 雨水を集める範囲 150m²・ 雨庭 15m²・ 深さ 30cm・浸透能 50mm/h
3. 駐車場・商業施設｜北緯 32.80820・東経 130.76210｜ 雨水を集める範囲 500m²・ 雨庭 50m²・ 深さ 30cm・浸透能 50mm/h
4. 公共施設｜北緯 32.80610・東経 130.76490｜ 雨水を集める範囲 400m²・ 雨庭 40m²・ 深さ 30cm・浸透能 50mm/h

雨水を集める範囲の流出削減

32.3 %

※雨水を集める範囲(屋根・駐車場など)合計1,165m²と雨庭面積合計117m²に降った雨に対する試算
※複数配置は、雨庭ごとに個別に計算して合算した値です(4か所分の合計)

雨庭なし 198.0 m³ → 雨庭あり 134.0 m³

配置した雨庭の浸透・貯留量

64.0 m³

地中に浸み込んだ雨水と、雨庭にたまって残っている雨水の合計

流出した雨水の合計

雨庭なし　雨庭あり

時間とともに流出した雨水を足し上げたもの。2本の線の差が、雨庭で減った流出の量



雨庭で減った流出の量 **64.0 m³**(198.0 → 134.0 m³、流出削減率 32.3%)

時間ごとの流出

雨庭なし　雨庭あり

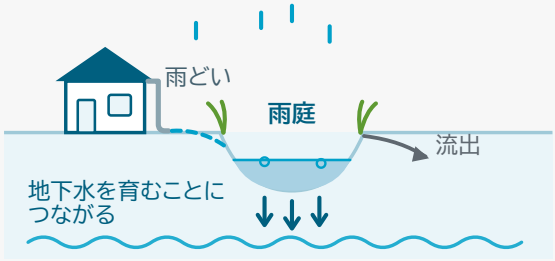
雨庭を置くと、流出の山がどれだけ低くなるか



ピーク流出を **−36%**（114.05 → 73.28 m³/h）

雨のゆくえ

集めた雨を雨庭に浸み込ませ、ためて、流出を抑えるしくみ



屋根などと雨庭に降った雨のうち **32%** を雨庭が浸透・一時貯留し、流出を抑えます（残り 68% は流出）

雨庭に浸み込み・たまった雨の量のイメージ

家庭用浴槽

320 杯分

1杯≒200L

雨庭とは

雨庭は、屋根や駐車場に降った雨を集めて**一時的に貯え、ゆっくりと地中へ浸透させる庭（緑の空間）**です。雨どいや舗装面からそのまま下水道へ流れてしまっていた雨水を、大地へ還します。

※この試算は目安です。効果をお約束するものではありません。
※「雨水を集める範囲」と雨庭に降った雨だけを対象にした試算です。まちや流域全体の効果ではありません。
※この結果は、入力した条件にもとづく試算です。許認可の申請や行政手続きの根拠資料としては使えません。
※雨庭の設計・施工は、施工会社・造園会社にご相談ください。
入力条件は利用者が設定したものです。個別の試算結果は、本ツールの運営者（サントリーホールディングス株式会社）および計算方法の提供者が確認したものではありません。
※営利目的や、国・地方公共団体・法人・個人事業主などの業務・行政事務でのご利用は有償となり、お申込みが必要です（学校・大学等での教育・研究は無償です）。

計算方法の提供：熊本県立大学 島谷幸宏特別教授
出典：気象庁「過去の気象データ」（https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php）／熊本県・東京都 計画降雨／雨庭スタンダード・テキストブック 2026年版
上記の各降雨データをもとに、サントリーホールディングス株式会社が編集・加工して試算しています
計算のしくみや結果の見方は、よくある質問をご覧ください：https://rain-garden.suntory.co.jp/faq/